

ひな飾り折り紙教室



2月3日(日)午後1時半～徳成寺で「ひな飾り折り紙教室」が開かれました。この度は、ふうせんうさぎと言って左の写真のような胴体部分がふくらんだうさぎを作りました。お内裏様とおひな様と3人官女の計5体を仕上げました。金屏風を背にしたひな飾りは、なんともユーモラスでした。節分のこの日から桃の節句までの一か月間、みんなめでたでお祝いし大いに楽しめそうでした。

2011年以來8年ぶりに千馬先生に来て頂きました。千馬先生は、コミュニティーセンターその他で「折り紙教室」の講師をされているベテランです。ふうせんうさぎの胴体と頭の部分をそれぞれ練習用の紙を準備しておいて、先ず練習しておいてポイントを押さえます。それから本番に取り掛かるので失敗しても怖くありません。さあ皆さん、張り切ってスタートです。



折り紙にかける思いは、皆さん様々です。普段から認知症予防もあり、折り紙を自宅で楽しんでいる方、何十年かぶりに折り紙に触れるという方、そしておひな様が好きで興味がある方までいらっしゃいました。中には「こりゃ、肩が凝るわ」と思わず本音を漏らしたり、普通の紙と違って折りにくい和紙に、つい力が入ってビリッと破けてしまったり、皆さんなかなか悪戦苦闘してました。

それでもどうか作品を完成させ、皆さん誇らしいお顔で記念撮影しました。やはりおひな様は、女性のお祝いとあって参加者は全員女性でした。出来上がったおひな様を、早速自宅に飾ると嬉しそうに皆さん持ち帰って行かれました。

